

令和元年度の 取組紹介

若松町の袋路で、普段は施錠されている避難扉に緊急連絡先を掲示しました。

緊急連絡先を周知することで、非常時の開錠がスムーズになります。

地域の協力で1歩、取組が進みました！

防災まちあるきで確認したこと

- ・老朽空き家、ブロック塀、トンネル路地や表札門の安全性
- ・路地の管理状況（自転車や植木など）
- ・袋路の2方向避難経路確保
- ・災害時に避難できる空き地や駐車場
- ・地域の集合場所の位置、安全性
- ・消火器の位置 等



『防災まちあるき』を行いました！

令和元年6月2日（日）、第6ブロック（若松町・烏丸町・三条殿町・西今出川町・一観音町）で、「防災まちあるき」を行い、23名の方にご参加いただきました。

袋路を中心に、地震時等を想定して、安全に避難ができるか確認を行う中、自転車や植木鉢がたくさん置かれている箇所や、エアコンの室外機が屋根から落下しそうな箇所、老朽化したブロック塀が面している箇所などが見つかりました。

また、2方向避難の確保が検討できそうな袋路も確認できました。

学区内には、まだまだ改善が必要な箇所が多くあります。「防災まちあるき」は、まちの危険箇所などを改めて確認し、具体的な改善につなげていくため、今後も継続して取り組んでいきますので、皆様、御協力をよろしくお願いいたします。



翔鷺ふれあいまつりで 「防災まちづくりコーナー」を 出展しました！

令和元年11月17日（日）、翔鷺小学校で開催された「第25回翔鷺ふれあいまつり」において、防災まちづくりコーナーを出展しました！

ブースでは、密集市街地の課題や翔鷺学区でのこれまでの防災まちづくりの取組、支援制度（裏面参照）を活用したまちの安全性向上のための改善事例等をご紹介します。

また、家の耐震化についてわかりやすく学べる、「ピノキオぶるる」を使い、お子様を中心に、筋かいなどを設置することで家が倒れにくくなることを体感していただきました。



⇒裏面では、京都市の支援制度を紹介しています。

「すぐにできる対策」から取り組んでいきましょう！

災害に強く、 避難しやすい 道づくり	<p>袋路の入口部分を安全にしましょう。 袋路の入口部分の建物の耐震・防火改修を行う場合、<u>上限250万円</u> 表札門の改修や除却など、入口部分を整備する場合、<u>上限50万円</u> (全額補助)の補助が受けられます！</p> <p>袋路の緊急避難経路を整備しましょう。 緊急避難扉を設置する場合、<u>上限30万円(全額補助)</u>の補助が受けられます！</p> <p>翔鸞学区 平成27年度整備</p> 	袋路やまちを安全にする対策に関する相談は、
	<p>古いブロック塀を改善しましょう。 ブロック塀の除却する場合、<u>上限11,600円/㎡</u>や新設費<u>上限8,900~14,700円/㎡(※)</u> (全額補助)の補助が受けられます！</p> <p>※塀の種類や面積により補助金額が変わります。</p> <p>翔鸞学区 平成30年度整備</p> 	
まちを強くする 空間づくり	<p>老朽化した空き家等を除却しましょう。 狭い道に面した家を除却し、周囲の防災性が向上する場合、<u>上限60万円(補助率2/3)</u>の補助が受けられます！</p> <p>翔鸞学区 令和元年度整備</p> 	お問い合わせください。
	<p>空き地などを防災ひろばに整備しましょう。 建物の除却費<u>上限100万円(補助率9/10)</u>、ひろばの整備費<u>上限200万円(全額補助)</u>の補助が受けられます！さらに、<u>固定資産税が免除</u>されます！</p>	

※これらの補助金には要件があります。詳しくはお問い合わせください。



引き続き、「防災まちづくり」への
みなさんのご参加・ご協力をお願いします。